

題名：横浜労災病院で膵癌による胆管閉塞に対して、金属ステントを留置された患者様へ

当院では、下記の臨床研究を当院倫理委員会の審査を経て病院長の許可のもと行っています。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、あなたの診療情報や検査などで残った検体の下記の研究への利用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして研究に利用させていただきます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用するまたは提供されることを希望されない場合、また研究に関する質問等ございましたら、下記に記載している問合せ先へご連絡下さい。利用を希望されないことが今後の診療に何らかの影響を与えることは一切ありません。

研究課題名 (承認番号)	膵癌遠位胆管狭窄に対するマルチホールカバー金属ステントの有用性 (-)
当院の研究責任者 (所属)	松本彰太 (消化器内科)
他の研究機関および 各施設の研究責任者	なし
本研究の目的	横浜労災病院における、膵癌による遠位胆管狭窄に対し 8mm 径のマルチホールカバー金属ステントを留置した症例と、同径のフルカバー金属ステントを留置した症例の治療成績を明らかにします。
研究の方法 (利用する試料・情報)	横浜労災病院で 2021 年 4 月から 2024 年 2 月までに膵癌の遠位胆管狭窄に対し経乳頭的胆道ドレナージを施行した 33 例を対象とし、8mm 径のマルチホールカバー金属ステントと同径のフルカバー金属ステントの患者様の年齢、性別、腫瘍径、手技内容と使用したステントの種類、治療成績を電子カルテで検索・情報収集します。 研究実施期間：倫理委員会承認後～ 2026 年 3 月
利用する試料・情報の 該当期間	2021 年 4 月から 2024 年 2 月
試料・情報の他の 研究機関への提供 および提供方法	なし
個人情報の取り扱い	利用する試料・情報から、氏名や住所等の患者さんを直接特定できる個人情報情報は削除いたします。研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は一切利用しません。
本研究の資金源	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。

(利益相反)	
お問い合わせ先	電話：045-474-8111(代表) メールアドレス：kenkyu@yokohamah.johas.go.jp 担当者：松本彰太 (所属：消化器内科)
備考	